

銀漢亭日録



伊藤伊那男

8月28日(日) ▼十一時より、高幡不動大師堂にて、皆川盤水先生の七回忌法要。棚山波朗、池内けい吾、暮目良雨、袖口満、朝妻力さんと私が参加。あと直会の席に川澄祐勝大僧正が挨拶に来て下さる。あと、皆川文弘さんを加えた仲間で「増田屋」。しこたま日本酒を飲んで帰宅して一眠り。

29日(月) ▼店、藤森さんの「閨句会」八人。大型台風上陸か、と。

30日(火) ▼池田のりをさん、古稀の誕生会。十数名集まる。羽衣さん幹事。三句出し句会も。伊那谷の上農高校の方々四人。同窓会の打ち合わせとて来店して下さる。

9月1日(水) ▼敦子デー。カウンター賑わう。奥、「十六夜句会」あと十一人。山崎祐子、山田真砂年、土肥あき子さん、「いわき海の俳句全国大会」の反省会。

2日(金) ▼店、「大倉句会」あと十六人。

3日(土) ▼九時のあずさ号乗車。上諏訪に井蛙さん迎えてくれて伊那。「潮」にてローメンの昼食。十四時過ぎ、伊那市駅に十五人集合。バスにて清水庵、吉祥寺、井月の墓、塩原家の句碑などを見る。「串正」にて句会。途中、「高遠句会」の加藤恵介、三溝恵子さんが来て下さり宴会に。井蛙さんの友人のラーメン店に寄り、ホテルセンピア泊。

4日(日) ▼七時半までゆっくり寝る。晴。十時、「井月俳句大会」。十三時から一時間半、「句から覗いた井月『酒と食べ物』」の題で講演。姪夫婦も聞きにきてくれる。あと、当日句発表。武田禪次さん選者。「銀漢」勢の活躍目立つ。親睦会あり、あと「門」にて電車

14日(水) ▼発行所、「梶の葉句会」選句へ。「月の匣」水内慶太氏三人。清人、うさぎ、近江、近恵さんなど奥で句会。

15日(木) ▼山田春生句集『大志』感想文六枚。「春耕」十一月号へ送る。店、竹内宗一郎さん誕生日前夜祭として「天為」の方々中心に集まり、ヴーヴクリコ二本空く。「銀漢句会」は二百回とて句会后、二十人来店。ヴーヴクリコ二本。皆川文弘さん、麒麟、村上鞆彦さんなど。

16日(金) ▼「トヨシマクリニック」ピロリ菌治療の結果、撃退！と。発行所「葛句会」あと店へ六人。坪井夫妻、私の大学時代の同級生益田良子さん夫妻を案内して下さる。夫君も同級生だが記憶が薄い。

17日(土) ▼正午、大船駅にO R I X時代の上司、中野さんと落ち合う。「観音食堂」にて昼食。十三時、玉縄学習センターにて七名の方々と句会。「銀漢」への入会申込を受ける。あと、藤沢に移動し、料理店「わかさ」にて親睦会。御馳走になる。

18日(日) ▼午前中、新宿歴史博物館。「信州高遠藩 歴史と文化」展、初日を見学。戻って選句など。

19日(月) ▼終日家。夕方家族で食事。刺身、カラスミ、空心菜炒めなど。「敬老の日なのに作らせちゃって……」と桃子。「敬老の日は七十歳からね」とも。

20日(火) ▼皆川丈人さんより電話あり、同人の土井弘道さん、今朝逝去と。体調悪いと聞いていたが、まさか！八月に胃癌発覚。ステージ四と。丈人さんと同じローメン勤務の縁で紹介された方。台風通過で客少なく、二十時半閉店。

21日(水) ▼「三水会」五人。高校同期がこうして毎月集まってくれるのは嬉しい。都庁に勤めていた井上君から内部の話など聞く。

の時間まで飲む。飯田線、あずさと飲み続ける。ああ……。

5日(月) ▼「あ・ん・ど・うクリニック」。店、畔柳海村、武田禪次句集出版記念会。(正風を聞き止めてある端居かな)(神酒提げて居留守の神を詣でけり)。五十名程集まる。差し入れの食品も多く、亭主助かる。

6日(火) ▼午前中、十月号の校正。さすがに店閑散。橋野さん、会社仲間三人で。二十二時過ぎ閉める。

7日(水) ▼「きさらぎ句会」あと九人。「宙句会」あと九人。伊那の小池百人君、出張で寄ってくれる。飛露さんと三浦昇さん。三浦さんは日経新聞OBで、私の伊那北同窓。亡くなった守屋君の二年先輩と。

8日(木) ▼「春耕」五十周年記念賞七十一編の選句大変！展枝さんの「極句会」第一回、十人。大王製紙の方々五人。志村昌さん、今泉礼奈さんの縁。その他賑わう。

10日(土) ▼十時、運営委員会。十三時、ひまわり館にて「銀漢本部句会」五十三人。あと「テング酒場」にて親睦会十五人ほど。編集部は私のエッセイ集出版の最終打ち合わせ。

11日(日) ▼兄から、手製の豚肉の燻製、乾燥ハーブなど到来。夕方から杏さん一家来て家族食事会。さんまの味噌漬、焼き茄子、カラスミなど私の手製。モツ鍋。近所の子三人来ていたので十五人。

12日(月) ▼荊子、昨日、手が痛いと言っていたが、指の骨折。ドッジボールで突き指だった由。全身麻酔で手術と！店、「かさ、ぎ俳句勉強会」(角川春樹)あと十三人店へ。

13日(火) ▼発行所、鳥居真里子さんの超結社句会に貸し出し。その間、編集部は店で校正作業。店「火の会」七人。

閑散。

22日(木) ▼彼岸中日。十八時、「セレモ我孫子駅ホール」にて土井弘道さん通夜。午前中に弔辞依頼あり、あわてて用意。「銀漢」から十数名弔問。あと、近くの居酒屋で偲ぶ。

23日(金) ▼十四時、「門」同人会に発行所貸し出し。あと「金星句会」。終わって五人店。

24日(土) ▼十四時、日本橋「鰯の与志喜」、「纏句会」十一人。あと茄子と万願寺唐辛子の煮物、土瓶蒸、題の太刀魚の塩焼き、握り。十八時、新宿センタービルの「安倶楽」。O R I X時代の仲間が十人集まるとて声が掛かったもの。三十年振り位に会う方々も。嬉しく！

25日(日) ▼連日の酒疲れ。一日家。選句など。夕方、杏さん一家来て、食事会。秋刀魚十二匹焼く。

26日(月) ▼「あ・ん・ど・うクリニック」。店、ニューヨークの中川手鞠さん帰国とて、秋葉男さん音頭で「天為」の方々など七人。カウンターで句会。奥は「演劇人句会」八人など。

28日(火) ▼隣家の金木犀の巨木、家中が匂いに包まれる。十一月号の選評急がねば……。店、「雛句会」十六人。宮澤他成城パパ仲間七人など。

29日(水) ▼朝、秋葉男さんに添削教室FAX。同人投句選を花果さんに渡す。あと二本残っている。店、「閨句会」七人。

30日(木) ▼志水さん宛同人集選評投函。札状、通信など七、八人に便り。月末の支払失念。酒屋へ詫びの電話。「春耕」五十周年記念号へ十句。店、三ヶ月に一度の「白熱句会」。水内慶太、井上弘美、藤田直子さん。有文社の多田英治さん訪ねて来て下さる。